

2025年度 姫路科学館友の会事業

クリスマス講座

「冬至に太陽の復活を祈るクリスマス」

～お話とラトビアのオーナメント作り～



ヤギを抱くトムテ（スウェーデン） 尾崎織女さん撮影

古代ヨーロッパでは、太陽が力を失い、地上の生命力が衰えた冬枯れの季節に光の復活を願い、新年の豊作を祈る祭を行っていました。キリストの降誕を祝うクリスマスは、冬至祭や収穫祭など、土着の信仰をとり込むことを通して、大きな行事へと発展していったと考えられます。世界各地のオーナメントを通して、そのようなクリスマス行事の成り立ちについてお話しします。

お話のあとは、太陽の復活を願って作られるラトビアのオーナメントを作ります。

*尾崎 織女（おさき あやめ）

1990年より日本玩具博物館学芸員として、世界各地の民芸玩具の調査・収集を担当。35年にわたり、「世界のクリスマス展」をはじめ、館内外での展覧会企画に従事する。世界各地に伝承されるクリスマスオーナメントの再現講座にも長年、取り組んでいる。

著書には、『ままごと』（文溪堂）、『世界の民芸玩具～日本玩具博物館コレクション』（大福書林）、『中国民衆玩具～日本玩具博物館コレクション』（大福書林）などがある。

2025
12/13(土) 14:00～16:00

サウリーテ（太陽）
つくります



- ★会場：姫路科学館4階講義室
- ★講師：尾崎 織女さん
- ★定員：50名
- ★参加費：100円（材料費）
- ★申込み：電話またはE-mail

【主催】姫路科学館友の会
【共催】姫路科学館

<姫路科学館>

〒671-2222 姫路市青山1470-15

TEL：079-267-3960（受付17:00まで）

E-mail：himeji_kagakukan_tomonokai@outlook.jp

開館時間：9:30～17:00

入館料：〔常設〕一般600円、小・中・高校生210円

〔プラネタリウム〕一般600円、小・中・高校生210円

